

【はにわ館特別展「氏郷の城と町」が始まります！】

今月 8 日（土）から 12 月 4 日（日）まで、はにわ館第 2 展示室では特別展「氏郷の城と町～松阪の誕生と発展～」を開催します。タイトルの「氏郷」とは、戦国時代の武将である蒲生氏郷（1556～95 年）のことです。「氏郷」と「松阪」、一体どんな関係があったのでしょうか。

現在の滋賀県蒲生郡日野町出身である氏郷は、数々の戦での功績が秀吉に認められ、1584 年に今の松阪を含む地域を治めることになりました。「四五百森」という小高い丘に注目した彼は、1585 年からわずか 3 年ほどで、そこに新しい城を築かせます。1588 年に氏郷はこの新しい城に入り、城下町を「松阪」と名付けました。「松阪」の「松」の字は、常緑の松のようにいつまでも栄えることを願って用いられたとも、出身地の日野にある「若松の森」から取ったとも言われています。また「坂」の字は、秀吉がつくった都市「大坂」の一字をもらったと言われていいます。こうして「松阪」という町が誕生しました（1889 年から「松阪」に変更）。このことから、氏郷は「松阪開府の祖」と呼ばれています。

蒲生氏郷は、城づくりとともに、城の周りに広がる平野を利用して城下町づくりを進めました。しかし、城下町がようやく栄え始めた時に、秀吉の命で松阪を離れることとなります。1590 年、秀吉は、奥羽（今の東北地方）全体を治めるための中心となる会津の地を、氏郷に任せました。氏郷が松坂城を本拠地としたのはわずか 2 年ばかりのことですが、彼の町づくりによって、この地にたくさんの人々が集まり、江戸時代には三井家、長谷川家、小津家など、多くの商人が活躍しました。氏郷が松坂城を築いてから 400 年以上経った今でも、松阪の町には当時の様子を伝えるものが至る所に残っています。

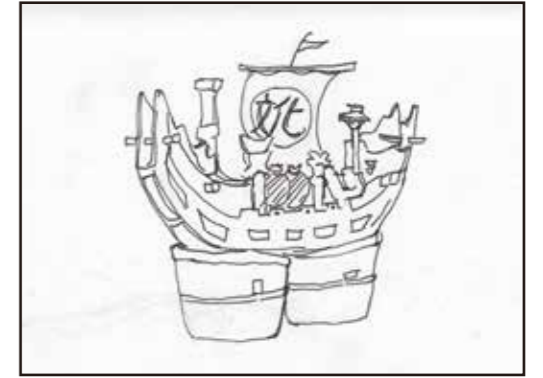
さて、今回の展示では、「国史跡 松坂城跡」でこれまでに実施してきた発掘調査の成果や文献資料から、氏郷が築こうとした城、城下町とはどのようなものだったのかを紐解いていきます。たくさんのご来館をお待ちしております。（担当）

※今回の『はにわ通信』を書く際、主に『蒲生氏郷 郷土の偉人を知る③』（松阪市教育委員会、2015 年）を参考にしました。これは現在、松阪市文化財センター（はにわ館）、教育委員会文化課、歴史民俗資料館、松阪商人の館、松浦武四郎記念館で販売中です（1冊 200 円）。



【文化の香り……】

勢州松坂の商人たちが活躍した江戸時代、三都の文化がリアルタイムで松坂に流入していた。江戸の店と松坂の店を行き来する商人たちがもたらす物と情報にいち早く接することができたことで、松坂の人たちの文化レベルは相当に高いものだったろう。参勤交代で江戸の文化が全国に広まったとされるが、それは主に武士の話で、松坂は町人や庶民レベルで享受できたところだった。



さらにこの時代にたびたび起きた伊勢まいりのブームも要因だろう。時には数百万の人々が全国から伊勢を目がけて押し寄せた。参宮街道（伊勢街道）を松坂の城下を通るように付け替えたのは蒲生氏郷であった。人の往来の多いことは、情報の収集や伝達には好都合である。

一方、松坂の商人たちの商才と松坂の女たちの手わざが生み出した松阪木綿は、その高い品質と粋な意匠から江戸っ子たちの心を捉えて爆発的に売れたという。松坂は最新のファッションを発信していたのである。

これらからは、地方にありながら単に地方都市ではなかった当時の松坂のあり様が見えてくる。

10月の文化財センターは、市民ギャラリーで松阪市美術展覧会が2期に分かれて開催されます。市民の皆さんの力作が並びます。はにわ館では、船形埴輪を中心とした常設展示とともに、特別展「氏郷の城と町」を開催します。文化の秋をご堪能下さい。（所長）

文化財センター はにわ館 & ギャラリー 10月の催し物予定

10月の休館日は11日（火）、17日（月）、31日（月）です。
開館時間は9：00～17：00です。

【はにわ館】 入館料 100 円（18 歳以下無料） * 入館は 16:30 まで

第1展示室	■常設展「宝塚古墳の謎」	
第2展示室	■特別展「氏郷の城と町」	10/8（土）～12/4（日）
第2展示室	■特別展「氏郷の城と町」展示説明会	10/8（土） *13:30～14:30
ロビー	■無料「灯りコンサート 2016 ～ギターが奏でる秋の夕べ～」	10/8（土） *17:30～18:45 * 座席は 90 席程度（立ち席での入場は可能）

【ギャラリー】 入場無料 * 最終日は 15:00 まで

第1・2・3G ■第57回 松阪市美術展覧会 第1部【絵画、彫刻・工芸】 10/1（土）～9（日）

* 10/8（土）は 19:00 まで

第1・2・3G ■第57回 松阪市美術展覧会 第2部【写真、書道】 10/22（土）～30（日）



バーコード読み取り
（文化財センター情報）